

お子さんの楽しい学校生活のために 就学支援シートを使ってみませんか

八王子市では、保育園・幼稚園・認定こども園等に通っているお子さんが、小学校入学後も楽しく学校生活を過ごせるように、「就学支援シート」をつくりました。

保育園・幼稚園・認定こども園等での生活で支援が必要なお子さんや、集団活動の時に個別の配慮が必要なお子さんが小学校に入学したとき、その子に合った支援や配慮が継続されることが大切です。

入学前にちょっとした配慮がされることで、お子さんの学校生活は過ごしやすくなります。小学校の担任の先生と、学校でどんなことができるか、一緒に考えていけるといいですね。

来年の春、お子さんが小学校に入学されるにあたり、心配なことや伝えたいことがあったら、ぜひ「就学支援シート」をご活用ください。



就学支援シートを利用されるにあたって

- ◆シートは、全員が提出するものではありません。
(シートを使ってみたいとお考えの方は、園長先生か園の担任の先生にご相談ください)
- ◆記載される内容はお子さんやご家族にとって重要な個人情報ですので、作成から活用まで適切に管理しています。また、目的以外の使用はいたしません。

- ・学校でどのように使われているの？
- ・使うことでデメリットはあるの？



担任が子どもの様子を詳しく知ることができ、支援の方法や手立てを事前に考えることができます。また、保護者の考えや意向も聞けるきっかけになっています。

シートの目的は、園で行っていた支援を小学校へつなげることです。デメリットはありません。使うことを迷われている方は、気兼ねなく活用し、提出してください。



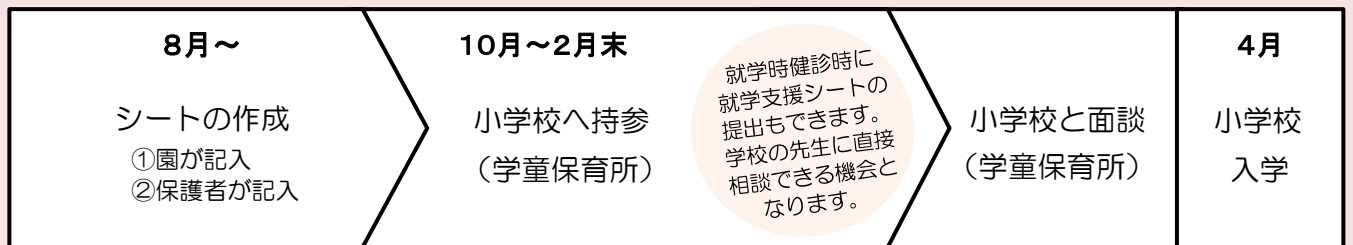
小学校の先生より

利用された保護者の声

就学への不安がとれました。

子どものことを理解してもらえてよかったです。また、改めて子どもの特性を知るきっかけになりました。

シート作成と流れ



・園の先生に相談し、一緒に話し合って作成してみましよう

- ・就学支援シート（原本）を学校に持参します
※ 事前に学校（校長または副校長）に連絡し、持参してください
- ・学童保育所に通われる場合はコピーをし、学童保育所にも提出しましょう
- ・マイファイル用（保管用）にも、一部コピーをしておきましょう

「就学支援シート」に関するお問い合わせ

八王子市保・幼・小子育て連絡協議会
(事務局：八王子市子ども家庭部子どものしあわせ課) まで
電話：042-620-7391 / FAX：042-627-7776

記入例

このようなシートに記入していただきます（全ての項目を書かなくてもかまいません。
お子さんに必要と思われる支援や配慮を小学校に教えてください。）

保護者から「園から」を講んで記入

生活の様子		お子さんの お名前	ふりがな
好きなこと 得意なこと (遊び・生活)	例) ○○遊び ○○○の手広い ペットの世話 絵本を読むこと		
苦手なこと (遊び・生活)	例) 運動 工作 家族以外の人と話すこと		

気をつけていること

遊びの中で	例) 公園に行ったり、歩いたり、なるべく体を使う遊びをするようにしています。 例) コミュニケーションが苦手なため、休日もお友達と遊ぶ約束をして、集団の中で生活させるように心がけています。
日常生活の中で	例) 新しいことを始める時に、先にあきらめてしまうことがありますが、いつも励ましてチャレンジさせています。 例) 自分でできることは、時間がかかっても自分でさせるようにしています。
その他気をつけていること	例) 一度にいくつもの用意を言ってしまうとパニックになってしまうので、1つずつ伝えるようにしています。最近、「これが終わったら、これ」と2つくらいは聞けるようになってきました。

これまでお子さんのことで相談に行ったところ

例) ○○○センター
例) ○○病院

健康、身体のことについて

例) 足首の動きが硬く、特に下り坂や階段の下がりがかかります。
例) 手先が不器用で、折り紙などの細かい作業に時間がかかります。

保護者から学校（学童保育所）へ伝えたいこと

例) 全体的に行動がゆっくりで、気持ちのやさしい子ですが、自分の気持ちをうまく表現できない可能性があります。
例) 初めての環境になじむのに時間がかかります。
例) すぐカオスになるので、お友達関係がうまくいくのか心配です。
例) 授業などで先生の説明が聞きやすいように、前のほうの席を希望します。

※学童保育所に入所を希望する保護者の方へ

学童保育所に入所を希望する場合は、このシート（原本）を小学校に提出する前に、お手元の保管用のコピーとは別に、必ずコピーを取っておいてください。
学童保育所はお子さんの大切な生活の場となります。入所申請時もしくは入所決定後、就学支援シートのコピーを保護者の方が直接、学童保育所に持参ください。

園から（最初に記入）

生活の様子		園・施設名
好きなこと 得意なこと (遊び・活動)	例) バズル、ブロック、電車・車を使っている遊び	
苦手なこと (遊び・活動)	例) 手先を使った遊び（はさみ、のりなど） 対応→個別に関わる、やりたくない時は、無理強いせず、気を向かせるような声掛けをしだり別の場に来るよう設定した。	

援助の様子（指導の中での配慮と工夫）

活動の中で	例) 製作は苦手なため、説明されたことをそばについて、さらに丁寧に伝えてきた。「○○したあと××して」を「1、○○する」「2、××する」と教えるなど。また、できたことや、やったことは必ず誉め、自信につなげてきた。
遊びの中で	例) 欲しいものがあると黙って取ってしまったり、友達をだくなど、手を出してしまうことがある。「欲しかった」「○○したかった」という本人の気持ちを受け止めてから仲裁に入り、お友達にも本人の気持ちを伝えてきた。
日常生活の中で	例) 朝、夕の支度は、基本的には出来るのだが、集中していることが苦手なため、スケジュールを紙に書いて写真を使って示し、目で見てわかるように伝えることでスムーズにいくようになった。

担任から学校（学童保育所）へ伝えたいこと

（上記のこと以外で特に伝えたいこと、もう少し補足したいこと、など）
例) 初めのうちは、一日のスケジュールが目で見てわかるように、紙に書いて、カードにして伝えてきた。そうすることで、見通しが持て、行動がスムーズにいくようになる。
成長とともに集団での関わりが持てるようになってきた。ルールは丁寧に説明する。友達との関わりの中でトラブルが生じた時は、まず本人の気持ちを受け止めてから対応して、なるべく集団の中の一人として関わらせるようにした。